

集う、創る、叶える、ふくしまで。

福島イノベ倶楽部 総会



福島イノベ機構

# 福島イノベーション・コースト構想推進機構の 取組について

2021年7月8日

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構  
事務局長 紺野 貴史

1. 福島イノベーション・コースト構想とは
2. 福島イノベーション・コースト構想推進機構の取組（概要）
3. 機構の取組
  - ①産業集積・ビジネスマッチング
  - ②拠点施設の管理運営
  - ③教育・人材育成
  - ④交流人口の拡大
  - ⑤情報発信
4. その他

# 1. 福島イノベーション・コースト構想とは

- 「福島イノベーション・コースト構想」は、東日本大震災および原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業回復のために、**新たな産業基盤の構築**を目指す国家プロジェクト。
- 福島ロボットテストフィールド等の拠点整備を含めた**主要プロジェクトの具体化**に加え、**産業集積の実現、教育・人材育成**、生活環境の整備、交流人口の拡大等に向けた取組を進めている。

取組の柱： ①あらゆるチャレンジが可能な地域 ②地域の企業が主役 ③構想を支える人材育成

## 廃炉

国内外の英知を  
結集した技術開発

廃炉作業などに必要な実証  
試験を実施する「楡葉遠隔  
技術開発センター」



## ロボット・ドローン

福島ロボットテスト  
フィールドを中核に  
ロボット産業を集積

陸・海・空のフィールドロボットの  
使用環境を再現した「福島ロボ  
ットテストフィールド」



## エネルギー・環境・リサイクル

先端的な再生可能  
エネルギー・リサイクル  
技術の確立

再生可能エネルギーの導入促進、  
連系する共用送電線を整備し導  
入を加速化



## 農林水産業

ICTやロボット技術  
等を活用した農林  
水産業の再生

ICTを活用し農業モデルの確立  
に向けたネギなどの業務加工用  
野菜の栽培



## 医療関連

技術開発支援  
を通じ企業の  
販路を開拓

「医療-産業トランスレー  
ショナルリサーチセンター」



## 航空宇宙

「空飛ぶクルマ」  
実証や関連企業  
を誘致

「航空宇宙フェスタふくしま」



## 産業集積

企業誘致と地域内  
外企業のマッチング  
を推進

## 教育・人材育成

浜通り地域等の未  
来を担う若い力を  
育てる

## 交流人口拡大

地域と連携して新  
たな魅力を創造

## 情報発信

構想の認知度アップ  
で参画を推進

## 生活環境整備

安心な暮らしに必  
要な環境を整備

（拠点整備・研究開発）  
主要プロジェクト

実現に向けた取組

- 福島復興再生特別措置法に基づく「重点推進計画」（2018年4月25日 内閣総理大臣認定）において、福島イノベーション・コースト構想推進機構を本構想推進の主要な実施主体として位置付け、国家プロジェクトである本構想の具体化を推進。  
※2017年7月25日に機構設立、2018年4月より体制強化し事業を本格展開。（2021年7月：126名）
- 以下の5本柱に、2021年度は県からの受託・補助事業（約32億円）を中心にソフト面の取組を展開。

### 産業集積・ビジネスマッチング

- 浜通り地域等への**企業誘致**
- 進出企業と**地元企業とのマッチング**
- 企業の**新ビジネス立ち上げ支援**
- 民間企業等の**農業参入支援**



ふくしまみらいビジネス交流会



企業立地セミナー

### 拠点施設の管理運営

- **福島ロボットテストフィールド**の運営受託
- **東日本大震災・原子力災害伝承館**の運営受託
- 拠点の利活用について県内外にPR



福島ロボット・テストフィールド



東日本大震災・原子力災害伝承館

### 教育・人材育成

- **高校等での産業界および研究機関等と連携した教育の実施支援**
- **市町村と連携した大学等の教育・研究活動支援**



大学と地域の連携  
(東京大×新地町)



イノベーション人材育成  
(相馬高校×日大工学部)

### 情報発信

- **イノベ構想の県民等への分かりやすい情報発信**
- 県外からの呼び込みに向けイノベ構想の魅力を発信



シンポジウム

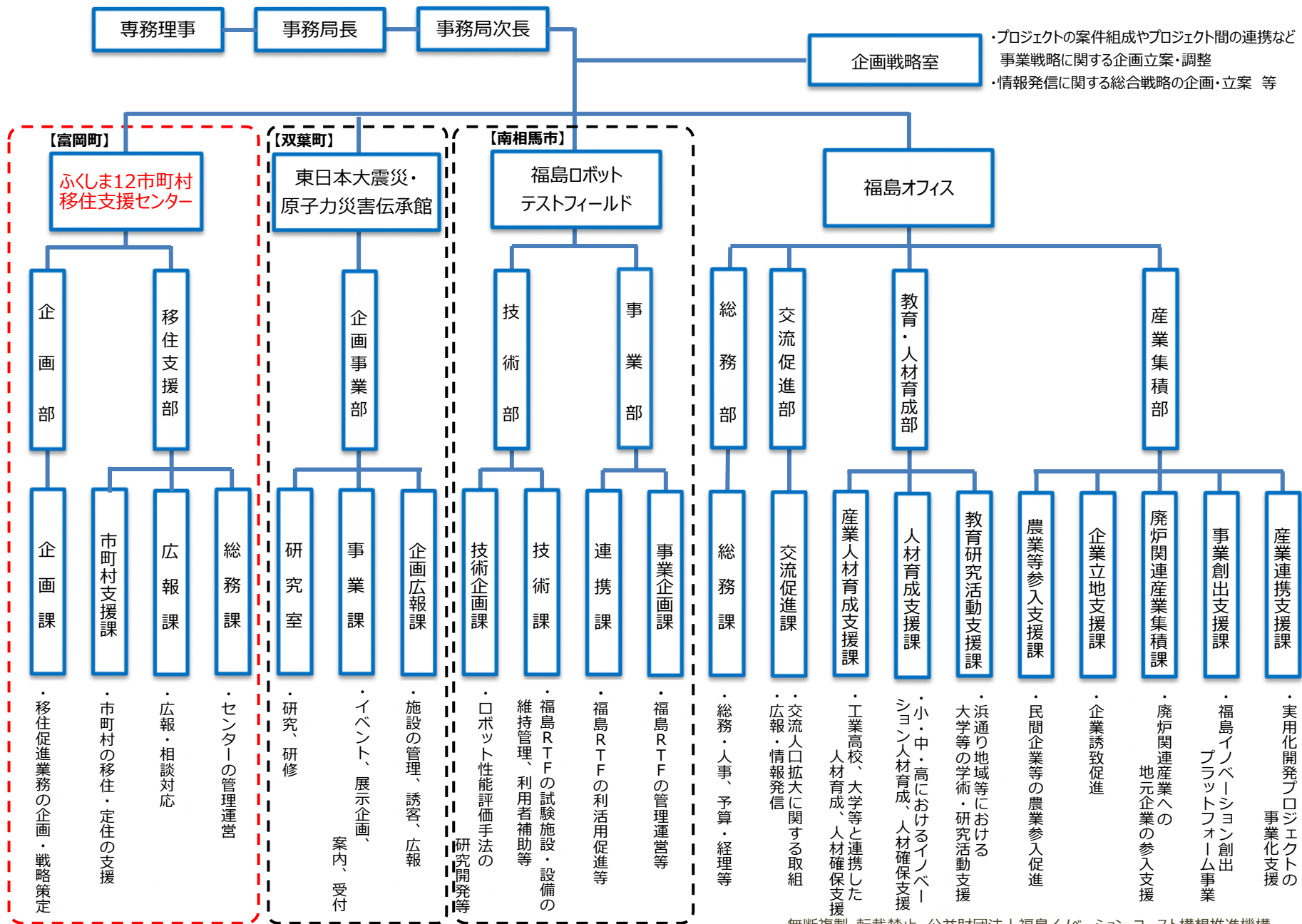
### 交流人口の拡大

- 浜通り地域等の各拠点への**来訪者呼び込み**
- **ふくしま12市町村移住支援センターの運営受託**



浜通り地域等を視察するツアー

# 参考. 機構の組織体制 (2021年7月~)



### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <企業誘致関連>

- 県外企業等の浜通り地域等への企業立地を目的として、産業ポテンシャルや各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアー、および個別現地案内等を実施。

セミナー

現地見学ツアー

個別現地案内等

立地協定締結・  
補助金等活用

立地



#### 企業立地セミナー

- 企業立地セミナー in 東京 (2020.11.24)
- ※会場参加83名 リモート参加47名



#### <出前講座> 2社4団体実施

- ・ 帝人(株)
- ・ (一社)日本医療機器産業連合会
- ・ NPO法人ロボットビジネス支援機構
- ・ (一財)機械振興協会経済研究所
- ・ イガラシ綜業(株)
- ・ (公財)大田区産業振興協会



#### 現地見学ツアー

- 第1回 企業立地現地見学ツアー (2020.10.19~20)
- ※参加企業13社16名

※2021.2に予定していた第2回ツアーは新型コロナウイルスによる影響により中止



産業団地の見学の様子(浪江南産業団地)

#### 個別現地案内

- 個別現地案内等 延べ19社 (2021.3末現在)



#### ○浜通り地域等産業団地プロモーション動画公開

各市町村の企業立地担当者とともに制作し、福島イノベーション構想ウェブサイトにて公開。全15本+全体概要1本公開

URL : <https://www.fipo.or.jp/industrialestate>

※イノベーション機構YouTubeチャンネルからも視聴可

※右画像は田村市の紹介動画から抜粋



立地協定締結5件  
立地補助金申請・採択6件

## <成果：立地協定締結5件、立地補助金申請・採択6件>

2020年度実績

2020年10月  
(株)宮田運輸 × 富岡町



【本社：大阪府】  
物流運輸拠点  
【2021年度事業開始予定】

2020年12月  
(株)ソーカ × 新地町



【本社：山形県】  
中子形状の鋳物製造工場  
【2022年8月事業開始予定】

2020年12月  
富士コンピュータ(株) × 浪江町



【本社：兵庫県】  
AIを搭載した介護用ロボット製造  
【2021年5月工場開所式実施】

2021年2月  
(株)テラ・ラボ × 南相馬市



【本社：愛知県】  
災害対策用長距離無人航空機製造  
【2021年10月事業開始予定】

2021年3月  
(株)福島グリーンフイルド × 葛尾村



【本社：福島県】  
フライアッシュ等再資源化施設  
【2022年7月事業開始予定】

### 立地補助金採択6件

- ・(株)ハイマスジーンホールディングス (浪江町)
- ・會津高圧コンクリート(株) (浪江町)
- ・(有)大東鉄工 (富岡町)
- ・福島SiC応用技研(株) (富岡町)
- ・(株)福島グリーンフイルド (葛尾村)
- ・(株)EVモーターズ・ジャパン (いわき市)

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <地元企業とのマッチング>

- 地元企業の構想への参画や地元への経済効果の波及に向けて、進出企業と地元企業とのビジネスマッチング（交流会）を開催。
- 相双機構、東邦銀行、福島県信用保証協会と連携協定を締結するなど、効果・効率的に進める。

#### ○ビジネス交流会

- ・イノベ機構と相双機構が連携したイベント（両機構が主催）。
- ・新規立地や研究開発等を計画・実施している企業が講演、ブースを設置し、来場した地元企業と商談等を実施。

2020年度で、**31件の企業同士の商談**の場を設定。**5件の取引成立・商談継続**。

#### <第1回>

11/19 Jヴィレッジ

講演：4企業

来場：33企業・団体/51名

商談数20件  
取引成立：2件  
商談継続：1件



名刺交換の様子



#### <オンライン商談会を実施>

11/25,26 オンライン

参加：6社/9名

商談数11件  
取引成立：1件  
商談継続：2件



オンライン商談会の様子

#### 取引成立事例

- ・ロボットの筐体等の樹脂加工
- ・ロボット内の組み立て配線作業

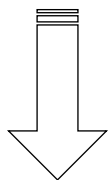


#### <地元企業とのマッチング>

##### <取引成立事例>

###### ○登壇企業：(株)クフウシヤ

- 南相馬市に進出し、業務用掃除ロボット等の自律移動ロボットの開発に取り組んでいる（地域復興実用化開発促進事業費補助金活用）。
- 今回、自律移動ロボットの製作に向けて、樹脂成形加工、樹脂切削加工、組み立て配線作業、組込みソフトウェア開発をお願いできる地元企業とのマッチングを希望。



ビジネス交流会に参加！

→現地5件、オンライン5件

計10件の商談を実施

###### 【取引成立①】

- 樹脂切削加工を得意とする地元企業と商談を行い、ロボットの筐体等の樹脂加工において取引成立した。

###### 【取引成立②】

- 基板設計・製作、組立て・配線等を得意とする地元企業と商談を行い、ロボット内部の組立て配線作業において取引成立した。



<業務用ドライ掃除ロボット Asion>

###### ※参考：製品の導入例

- ✓ 業務用ドライ掃除ロボットの製品第1号が南相馬市内のホテルに導入された（2021年2月）

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <事業化支援>

● これまで2016～2020年度のイノベ実用化補助金に採択された140社を対象に訪問等を行い、個々の事業者が抱えている課題解決のための支援を実施。

➢ 市場調査、技術面での課題解決や販路開拓に向けたマッチング、販売戦略の策定、資金調達に向けたアドバイスなど、課題に応じて、具体的な支援を実施。

訪問 延べ291回

**事業化になった事例**  
24件 (累計64件)

販売戦略策定に向けた関係者とのマッチング支援の様子 (2020.5)



#### <知財戦略支援>

● 事業化支援により、**知財課題等を把握した17社**に対し、弁理士による専門的支援を実施。

区分	件数
基礎支援	6件
事業化支援	16件

<主な支援内容>

- ✓ 現状分析レポートの作成
- ✓ 先行技術調査、先行文献調査、特許性調査
- ✓ 特許出願 (代理人業務)
- ✓ 商標調査
- ✓ 商標出願 (代理人業務)

特許出願 6社6件

特許取得 2社2件

#### <販路開拓等支援>

● 浜通り地域等の企業の販路開拓に向けた取組を支援。

○バイヤーとのマッチング会 (株山川印刷所)

- ✓ **流通のプロフェッショナルを集め**、浜通り企業の技術、製品とのマッチングのため、**バイヤーマッチング**を開催。

連携・商談成立件数 12件  
商談継続件数 9件

○台湾グローバル技術連携オンライン展示商談会 ( (公社) いわき産学官ネットワーク協会)

- ✓ **県内企業がバーチャル展示**を実施し、**台湾企業との商談会**を開催

商談継続件数 7件

## <事業化支援>

### 【具体的事例】

#### (株)リビングロボット

#### 【目的とする事業】

パートナーロボットの製品化 (b-RoBoとe-RoBo)  
e-RoBo : プログラミング教育の開始にあわせて、  
**学校授業への導入拡大を目指す。**

#### 【事業化の課題】

- 主な販売先として想定している**県内自治体とのつながりが薄い (販路)**
- 開発にあたり、**県内金融機関の融資を受けたい (資金)**

#### 【イノベ機構の支援】

#### ○販路<販路開拓支援>

- ・**福島県義務教育課**を紹介
- ・**山川印刷所**を紹介  
→山川印刷所主催の首都圏バイヤーとのマッチング会に参加  
→**東急ハンズで期間限定で発売決定!**

#### ○資金

- ・**東邦銀行**を紹介

**※伊達市が40台追加購入  
川俣町が購入手続中**



©MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi



©MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

## <事業化支援>

### 【具体的事例】

#### (株)芳賀沼製作

#### 【目的とする事業】

縦ログ構法に関する技術開発と縦ログ生産ネットワークの構築

#### 【事業化の課題】

縦ログ・パネルログ関連製品の販売促進に向けたP R活動の強化  
(販路)

#### 【イノベ機構の支援】

○インターネット広告の種類・特徴・価格等の調査を通じ、具体的なサービスを提示。広告配信後、効果測定を行い、改善点を提案 (販路)

○インターネット広告経由での流入ユーザーの受け皿となるHPの改善に向け、競合他社の調査を通じ、改善点を提案 (販路)

○HP閲覧者等からの問い合わせに対応できるカタログ・事例集の改善に向け、競合他社の調査を通じ、改善点を提案 (販路)

→HPのアクセス数が約5倍に、問い合わせ数は6倍に伸長！  
HP経由で県外の案件2件にパネルログ採用！



パネルログの施工現場



パネルログの生産機械

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <廃炉関連産業のマッチング支援>

- **地元企業が廃炉関連産業に参入**できるよう、ニーズ側(元請企業)とシーズ側(地元企業)をつなぐワンストップ相談窓口を東京電力HD、福島相双復興推進機構と共同で設置・運営。マッチング機会の提供など各種支援を実施。
- 昨年度の振り返りから、**2021年度より新たな取組を追加**
  - ① **[交流会開催]** 東電・元請・地元企業の新たな関係構築のため交流会を開催
  - ② **[技術支援]** 地元企業の技術力向上に向けた支援を実施
  - ③ **[資格取得支援]** 廃炉事業に必要な資格取得に係る費用の一部補助を開始

#### ○福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局 2020年7月より運用開始



- ・課題を整理し、  
**イノベ機構**  
**相双機構**  
**東京電力**  
の3者が連携し、廃炉  
関連産業参入に係る  
**ワンストップ窓口**を設置。

#### <マッチングサポート事務局の活動>

- **電話ヒアリング、企業訪問**
  - **登録企業数：114社** (2021年3月末現在)
 

・製造業	: 57社	・建設業	: 28社
・サービス業	: 15社	・運送業	: 5社
・卸小売業	: 9社		
- **個別マッチング**
  - **コーディネイト数：26件** (2021年3月末現在)
 

・元請ニーズ	: 5件
・下請ニーズ	: 21件
- **廃炉スタディーツアー**
  - **参加者数：26社36名** (第1回、第2回合計)
    - ・第1回 (2020年11月12日)
    - ・第2回 (2020年11月19日)

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <廃炉関連産業のマッチング支援>

##### ■ 廃炉マッチング会

◎ 第1回廃炉関連産業マッチング会 (2020.10.30)

会場：Jヴィレッジ

○元請企業：日立GEニュークリア・エナジー(株)  
 (株)日立プラントコンストラクション

○県内企業：**21社が参加**

【浜：14社、中：5社、会津：2社】

※ **17社**が今後取引先登録を視野に交渉を行う  
 可能性のある企業としての評価

◎ 第2回廃炉関連産業マッチング会 (2021.3.5)

会場：楢葉遠隔技術開発センター

○元請企業：前田建設工業(株)

○地元企業：**7社が参加**



オリエンテーションの様子



個別商談会の様子

#### <マッチング実績>

○地元元請A社が地元B社を製造拠点とした体制にて、不織布インナー(防護服)の  
 国内枠を**落札**

○その他、廃棄物の輸送や処理案件等が**進行中**

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

#### <事業創出支援> Fukushima Tech Create (福島イノベーション創出プラットフォーム事業)

- 新たなプレーヤーを呼び込み、産業の集積を図るため、福島県浜通り地域等15市町村（イノベ地域）※において起業・創業を目指す優れた事業シードを発掘し、事業化に至るまでの様々な支援を行う取組を2020年度より開始。



## Fukushima Tech Create

### 起業・創業を支援する3つのエンジン(A.専門家による支援、B.助成金、C.関係機関の支援)

#### A. 専門事業者による伴走支援

2021年度  
支援件数

- |   |     |
|---|-----|
| ①重点6分野のシード創出支援<ビジネスアイデア事業化プログラム>          | 20件 |
| ②社会・地域課題解決のシード創出支援<地域未来実現プログラム>           | 6件  |
| ③重点6分野からの事業化に向けた取組みの加速化支援<アクセラレーションプログラム> | 7件  |

#### B. イノベーション創出支援助成金 (10万円～10百万円)

①～③のプログラムに採択された企業等に対し、審査により試作品製作費等を助成

#### C. Fukushima Tech Create サポーター

行政機関・金融機関・教育機関・経済団体による支援

#### Fukushima Tech Create センター (本事業の運営事務局)

福島イノベーション・コースト構想推進機構／福島相双復興推進機構

✓事業者等からの相談受付・発掘、FTCサポーターへの情報提供等を実施。

2021年度は  
7月より支援開始

※「福島県浜通り地域等15市町村（イノベ地域）」とは、いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町及び飯館村の4市・8町・3村をいう。

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

#### <事業創出支援> Fukushima Tech Create (福島イノベーション創出プラットフォーム事業)

2020年度実績

プログラム	支援件数	採択分野	所在地等がイノベ地域の事業者	備考
①ビジネスアイデア事業化プログラム	29	廃炉 3 件、ロボット・ドローン 5 件、農林水産業 9 件、エネルギー・環境・リサイクル 5 件、医療関連 9 件、航空宇宙 2 件 ※一部重複あり	いわき市 3 件、田村市 2 件、南相馬市 1 件、広野町 1 件、楢葉町 2 件、浪江町 1 件	中通り：7 件 会津：2 件 ※田村市除く
②地域未来実現プログラム	8	教育 1 件、医療/介護 1 件、暮らし 1 件、担い手育成/獲得 1 件 農林漁業 3 件、DX/オープンイノベーション 1 件	なし	中通り：0 件 会津：0 件
③アクセラレーションプログラム	10	廃炉 1 件、ロボット・ドローン 4 件、農林水産業 1 件、エネルギー・環境・リサイクル 2 件、医療関連 1 件、航空宇宙 1 件	いわき市 1 件、南相馬市 2 件	中通り：1 件 会津：0 件

#### <プログラム参加者の取り組み事例>

##### (株)エムケー技研 (ビジネスアイデア事業化プログラム)

令和元年の東日本台風で被災した経験をもとに豪雨による河川の水量予測システムを開発中。

→助成金で試作品開発、FTCセンターの紹介で県内河川で実証。

##### (株)huntech (地域未来実現プログラム)

イノシシによる農業被害を防ぐため、捕獲見回りを不要とするスマートフォンと連動したICT罾の導入実証を行うとともに、これと連携した捕獲に関する行政手続きシステムを開発中。

→助成金でICT罾の導入実証を実施。FTCセンターの紹介により、福島県と行政手続きシステムの要件定義を実施。

##### (株)チャレナジー (アクセラレーションプログラム)

台風などに耐えられる同社の風力発電機を、寒冷地でも対応可能とするべく改良中。

→助成金を活用し、RTFで試験を実施。FTCセンターの紹介により、実証機の設置場所をイノベ地域内で検討中。

#### ○Fukushima Tech Create 2021 スタートアップピッチ (2021.1.26 オンライン開催)

- ・事業に参加したスタートアップ企業等42者が、事業内容やプログラムの成果、今後の事業展開等を発表
- ・ライブ配信延べ視聴者数 **748名**



(ピッチイベントの様子)



【配信アーカイブ】イノベ機構YouTubeチャンネルで公開中  
<https://www.fipo.or.jp/news/13519>



### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

2020年度実績

#### <農業参入支援>

- 営農再開に向けて担い手が不足する中、大規模化・効率化を図るため、市町村や関係機関と連携し**企業の農業参入**を支援。

#### <2020年度>

- 企業へのヒアリング：**14社**
- 企業向け現地見学ツアー  
4社6名の申し込みがあったが、新型コロナの影響で中止
- 参入意向企業の現地案内  
**8社（うち5社は2回）**
- 優良事例調査：**5件**
- 市町村職員向け研修：**9市町村19名**



現地案内（新地町）



市町村職員向け研修

#### <参入実績：4社>

- ・**twin village(株)**  
[本社(農業関連):いわき市]  
富岡町で小麦の作付け、水稻作付準備
- ・**(有)青高ファーム**  
[本社(農業関連):群馬県]  
浪江町でネギの作付け準備
- ・**(株)群馬電機工業**  
[本社(電気関連):群馬県]  
浪江町でネギの作付け準備
- ・**(株)CTIフロンティア**  
[本社(農業関連):埼玉県]  
相馬市でトウモロコシ試験栽培



浪江町に参入を決めた  
企業2社（本社：群馬県）

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング

#### <先端技術普及啓発>

2020年度実績

- 農林水産業の成長産業化に向けて、先端技術や新たな情報等を得られる**体験型展示会**を開催。

○スマート農業・先端技術体感フェア in とみおか  
(2020/11/16 富岡町文化交流センター 学びの森)

※一般207名、高校生47名参加

出展者等関係者を含めた参加者は**338名**

※相馬農業高校プロデュース「ふくしまイノべんとう」を  
イベントで限定販売



ロボットトラクター



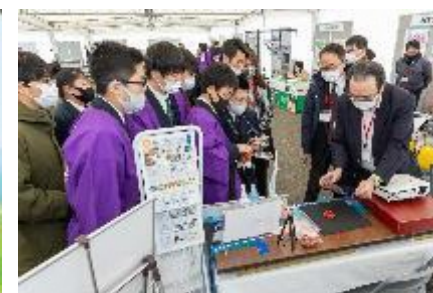
相馬農業高校のイノべんとう  
完成発表会の様子(10/27)

○スマート農水業・先端技術体感フェア in いわき  
(2021/2/26・27 小名浜アクアマリンパーク)

※一般394名、高校生151名参加

出展者等関係者を含めた参加者は**638名**

※磐城農業高校、いわき海星高校が共同企画した  
「ふくしまイノべんとう」をイベントで日替わり限定販売



「おいしさの見える化システム」による  
磐農高生産トマトの解析



2/26販売のイノべんとうの掛け紙  
(磐城農業高校の生徒作)

- 陸・海・空のロボットの研究開発や操縦訓練等を行う福島ロボットテストフィールド(約50ha)を南相馬市および浪江町に整備。
- 2018年7月の通信塔を皮切りに順次オープンし、**2020年3月に全面オープン（21施設）**。
- 機構では、2019年4月より指定管理（5年間）を受け、管理・運営を実施。

#### <マップ>



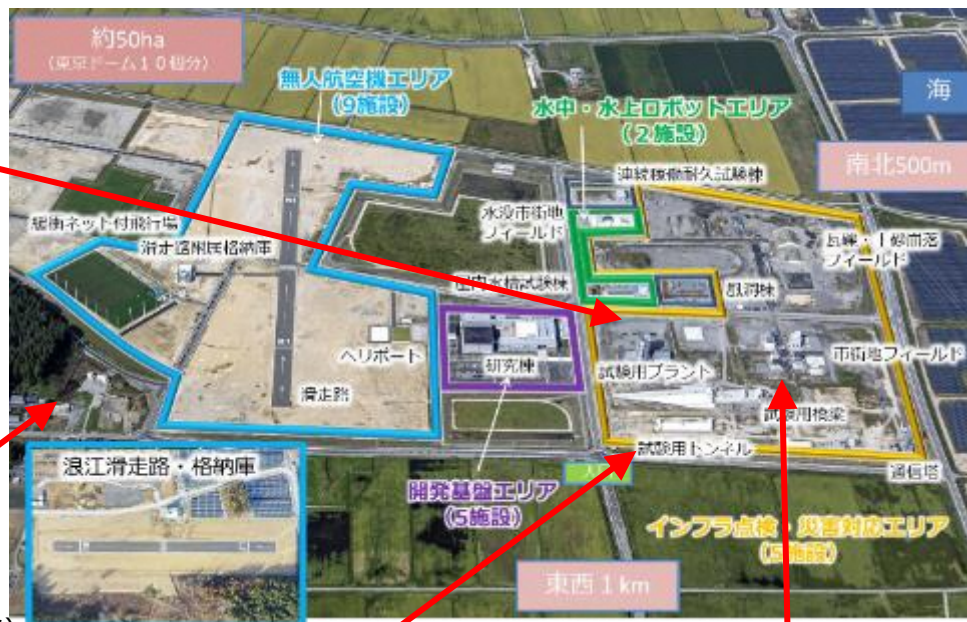
#### <施設>



試験用プラント



広域飛行区域（浪江町滑走路）



試験用トンネル



市街地フィールド

〔空撮動画〕(2020年7月15日)  
「福島ロボットテストフィールド」(2分42秒)



### 3. 機構の取組 ②拠点施設の管理運営 ～福島ロボットテストフィールド～

2021年5月

- 中核となる**研究棟には22研究室**があり、全国から**大学や企業等が入居**。
- 福島県**ハイテクプラザ南相馬技術支援センターを併設**し、技術相談・設備使用（加工機器、分析機器等）・試験分析など、企業に寄り添った支援を実施。

○右表の入居者について、事業内容を広く知ってもらうため、入居事業者概要（紹介冊子）を作成し公開（2021年1月）  
 ※掲載ページ：  
<https://www.fipo.or.jp/robot/news/topics/post-2973>

入居者名	本社	研究開発対象
(株)プロドローン	愛知県	大型ドローン
(株)デンソー	愛知県	橋梁点検ドローン
(国研)海上・港湾・航空技術研究所	東京都	航空機位置探知システム
(株)ロボテックス	神奈川県	水素燃料電池ドローン
會澤高圧コンクリート(株)	北海道	インフラ点検用ドローン
(株)先端力学シミュレーション研究所	埼玉県	ドローン用部品
総合警備保障(株)	東京都	警備用ドローン
(株)SkyDrive	東京都	空飛ぶクルマ
テトラ・アビエーション(株)	東京都	空飛ぶクルマ
(株)タジマモーターコーポレーション	東京都	自動走行、EV
東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県	自動走行、EV
新明工業(株)	愛知県	災害対応ロボット車両
会津大学	福島県	災害対応ロボット
NPO国際レスキューシステム研究機構	兵庫県	インフラ・災害対応ロボット競技手法
(一社)ふくしま総合災害対応訓練機構	福島県	総合災害対応訓練、災害対応ロボット実用化
(株)メルティンMMI	東京都	アバターロボット
ロボコム・アンド・エフエイコム(株)	東京都	ロボットシステムパッケージ
富士コンピュータ(株)	兵庫県	ロボット向けAI
(株)リビングロボット	福島県	パートナーロボット

★(株)人機一体（建設機械ロボット）は、2021年5月より、次のステップとして、南相馬市産業創造センター（貸工場）へ移転。



紹介冊子から一部抜粋

● 浜通り地域等へロボット事業者の集積が進んでいる。

RTFで  
活用事例  
**343件**  
(2017年9月～2021年5月)

実証から集積へ  
浜通り等への  
ロボ関連新規進出  
**55社・団体**  
(東日本大震災以降)

すそ野広く地元へ波及  
福島ロボットテストフィールド  
来訪者数  
**41,100名**  
(2018年7月～2021年5月)

<活用事例>



南相馬滑走路

固定翼無人航空機の公開実証試験 (2019/5/13テラ・ラボ)



市街地フィールド



試験用トンネル

トンネル内複数車両事故時の負傷者救出・消火訓練 (2020/2/10福島県内4消防本部、県警察本部)



南相馬滑走路

ドローンによる輸血用血液の輸送実験 (2019/6/25東京都立墨東病院)



屋内水槽試験棟



水中ROV操作訓練 (2020/5/11東京電力、アトックス)

#### ● 第1回 ロボテスEXPO2021 (2021.3.18-19)

- ・RTF各施設の実験環境の紹介とロボット関連事業者のPR、ビジネスマッチングの創出を目的に開催。
- ・ロボット・ドローンの研究開発等に取り組む37事業者が出展。2日間で約400名の方が来場。



(株)人機一体の人型重機



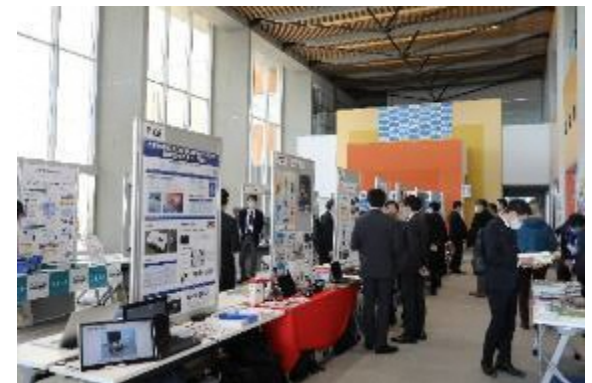
ブルーイノベーション(株)の  
球形ガード付きドローン



東北大学未来科学技術共同研究  
センターの最新運転シミュレータ

#### ● 超異分野学会 福島ロボットテストフィールド開所記念フォーラム (2020.11.13-14)

- ・ドローン、災害対応、農業IoTなどのテーマで分野の垣根を超えたセミナーを開催し、RTF研究室入居者や県内外の事業者など44者が参加、約150名が聴講。



### 3. 機構の取組 ②拠点施設の管理運営 ～福島ロボットテストフィールド～

- ・ロボテス見学会（南相馬市・浪江町主催 2020.8.22 参加者約400名）
- ・コスプレイベント（南相馬市主催 2020.9.26 参加者約100名）
- ・そうそうこども科学祭・テクノフェア（福島県主催 2020.10.17 参加者約500名）
- ・ロボテス縁日（福島民報社主催 2020.10.31 参加者約260名）
  - ・地元自治体や行政機関、県内企業等がRTF研究室入居者や県内事業者と連携し、ロボット普及、人材育成、交流人口拡大を目的とした各種イベントを実施。

ロボテス見学会



コスプレイベント



そうそうこども科学祭



テクノフェア



操縦者は福島市在住  
エアレースパイロットの室谷氏

ロボテス縁日  
福島高専の実演



ロボテス縁日  
会津大の実演



<①福島ロボット関連産業育成・集積支援コーディネート業務>

・ふくしまロボット産業推進協議会の活動と密接に連携し、福島県のロボット産業を育成・集積するために、コーディネーターを設置。県内を中心にロボット関連企業・団体・大学等を訪問し、技術の掘り起こし、情報発信、マッチング、受注拡大支援等を実施。

<②小学生向けプログラミング教室開催業務>

・人材育成として、プログラミング教室をRTFでの実施と、出前講座の2本立てで実施。

<③福島県産ロボット導入支援業務>

・県内で製造・開発されたロボットを導入し、県内で活用する事業者に対し、導入に要する経費の一部を助成。



2020年度実績	福島県				県外	合計
	浜通	中通	会津	計		
①訪問先数	79	149	18	246	5	251
②-1 RTF回数	20	2	0	22	0	22
②-2 出前回数	1	6	0	7	0	7
③導入支援件数	13(3)	9(1)	8(6)	30(10)	0	30

(補足)③導入支援の()内数字は、個人事業主への支援。再掲。

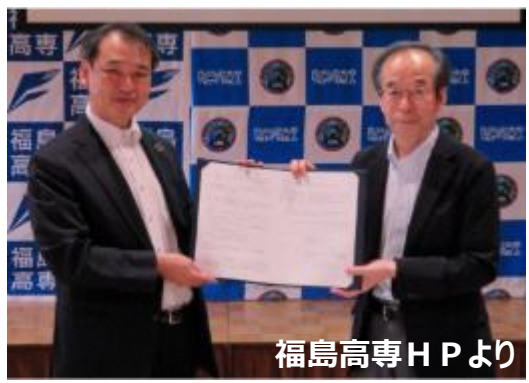


### 3. 機構の取組 ②拠点施設の管理運営 ～福島ロボットテストフィールド～

#### <連携協定（2020年度）>

- **ナショナルセンター化**に向け、連携協定を締結し、**ネットワークを構築**。

締結年月	機構 / RTF	連 携 先	
① 2020年 8月	RTF	福島工業高等専門学校	
② 2020年10月	機構	消防庁	福島県
③ 2020年11月	RTF	(国研)情報通信研究機構	大分県産業科学技術センター



福島高専HPより

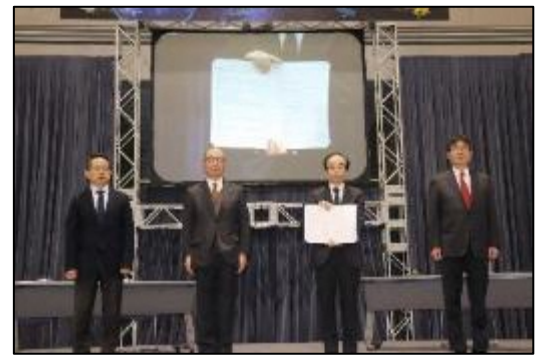
#### ①福島工業高等専門学校

- ・ RTFを活用した研究開発及び人材育成に関する連携協定を締結
- ・ 高専所有の点検訓練の橋梁部材を移設し、広く活用



#### ②消防庁・福島県・イノベ機構

- ・ 消防防災分野におけるドローン等の活用促進
- ・ 災害対応におけるドローン等の安全かつ効果的な運用に係る人材育成
- ・ RTFの施設及び機能の強化に向けた調査研究



#### ③ (国研) 情報通信研究機構・大分県産業科学技術センター

- ・ 「空の産業革命」実現に向けたテストサイト間の協力に関する協定を締結

2020年9月10日、国土交通省により、研究開発中の無人航空機の飛行に関する許可・承認の要件が緩和されました。これにより、RTFでの研究開発のための試験飛行が容易になりました。

## 簡素化の概要

無人航空機を飛行させる場合には、その場所や形態に応じて航空局から許可・承認を得る必要あるところ、この規制緩和により無人航空機の研究開発の促進が期待できるもの。

### <規制緩和の概要>

許可承認後に**機体の改造**を行った場合の**再申請が不要**

### <規制緩和の主な要件>

- 研究開発目的の飛行であること
- 飛行させる場所が運航者等において第三者の立入管理を確保
- 航空機の飛行状況を空域監視装置等によって監視できる

## RTFの取組

RTFは「空域監視装置」を有するなど、当該規制緩和の要件を具備している優位性あり。

### <短期的取組>

第三者立入管理や空域監視装置がカバーできているRTF敷地内を当面のサービスエリアとして広くPR。

### <中長期的取組>

- 第三者立入管理の方法や空域監視装置の性能向上を図り、徐々にサービスエリアを拡大。
- 広域飛行に係る研究開発環境を向上。



(参考) 福島ロボットテストフィールドを核とする産業集積に向けた動き

- 2019年以降、福島ロボットテストフィールド、南相馬復興工業団地、南相馬市産業創造センターに、延べ**30のロボット関連事業者が短期間で集積**。
- 地元自治体、ロボット関連産業の地域コミュニティ、施設管理者が**地域一体で新産業を創出**。

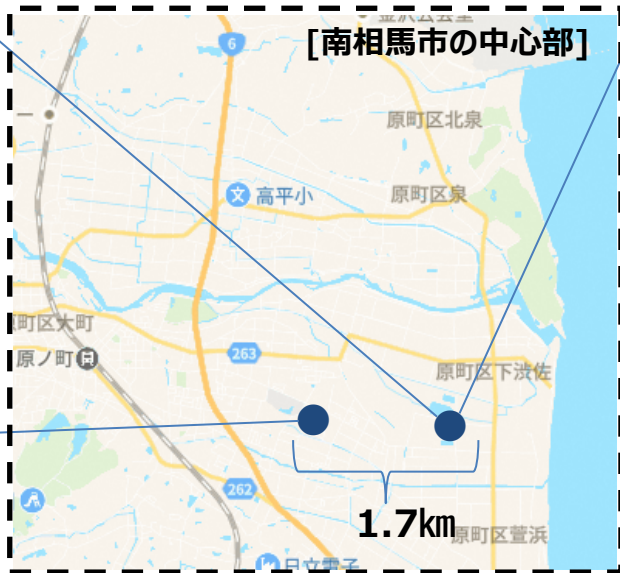
南相馬復興工業団地

- ・福島ロボットテストフィールドに隣接する市の**工業団地**（2019年8月～）。
- ・**3事業者が立地**。



南相馬市産業創造センター

- ・南相馬市のインキュベーション(貸事務所・貸工場)施設(2020年7月～)
- ・**12事業者が入居**。(2021年5月)



南相馬ロボット産業協議会

- ・製造業などの地元事業者を中心に、61社で構成されるロボット関連産業の地域コミュニティ（2016年～）。



福島ロボットテストフィールド

- ・世界に類を見ないロボットの実験場。
- ・**19事業者が入居**（2021年5月）。



## ＜株式会社テラ・ラボ＞

# TERRA LABO

2014年3月 設立（本社：愛知県春日井市）

2019年2月 現地見学ツアー参加

2019年2月 個別見学実施

2019年6月 イノベ実用化補助金 採択

2019年9月 **RTF研究室**入居

2019年10月 企業立地補助金 採択

2020年7月 **南相馬市産業創造センター**  
(貸工場) 入居

2020年9月 Fkushima Tech Create  
アクセラレーションプログラム 採択

2021年2月 立地協定締結※**復興工業団地**

2021年10月 竣工予定、操業開始予定

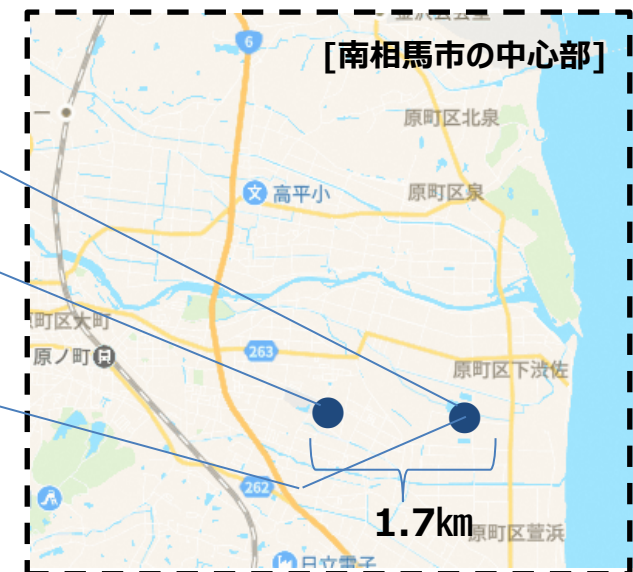


テラ・ラボHPより

### ◆事業概要

長距離無人航空機を活用  
した災害情報分析の研究  
開発

◆令和元年台風19号、令和3年福島県沖地震後、南相馬上空から被災調査を実施し、南相馬市災害対策本部へ空撮データを提供



### 3. 機構の取組 ②拠点施設の管理運営 ～東日本大震災・原子力災害伝承館～

- 複合災害の記録と教訓を収集・保存するとともに、調査・研究し、展示・研修を行う情報発信拠点「東日本大震災・原子力災害伝承館」を双葉町に整備。2020年9月20日オープン。
- 機構では、東日本大震災・原子力災害伝承館の指定管理を2020年4月より受託（5年間）。
- 累計入館者数 **51,193人(2021.5.5時点)**

#### <マップ>



#### <外観>



- 開館時間：9：00～17：00
  - 休館日：火曜日・年末年始（12/29～1/3）
  - 入館料：大人 600円 小中高 300円  
大人団体（20名以上）480円 小中高団体（20名以上）240円
  - 研修室：8,300円～（最大120名収容）
- ※入館料は1名あたりの金額。※教育活動での減免制度あり。



### 3. 機構の取組 ②拠点施設の管理運営 ～東日本大震災・原子力災害伝承館～

2020年度実績

#### ○「東日本大震災・原子力災害伝承館 合同開所式典」(2020.11.7)

(双葉町産業交流センター、福島県復興祈念公園との合同開所式典、あわせてオープニングイベントを実施)



平沢復興大臣  
内堀知事  
伊沢町長 出席



屋外ステージでの  
標葉せんだん太鼓



双葉だるま絵付け体験

#### ○「報道写真展」(2021.3)



10年間、報道機関の方々が、撮り続けた写真を展示。

(主催)

- 読売新聞写真部 & 福島民友新聞社
- 福島民報社



#### ○来館者

県外からも多くの来館者を迎えている。

東北地方、関東地方、関西地方はもちろんのこと、**北海道（札幌工業高校、北海道新聞編集局、平和ツアー連絡会）**や**九州（福岡高校）**からも来館頂いている。

#### ○一般研修（語り部、フィールドワーク等）の実施 計73回 3,531名 学生40団体、一般33団体（2021年3月末）

開館以来、伝承館の展示見学に加え、「一般研修（語り部講話、フィールドワーク、ワークショップ）」を提供。

##### 【主な受講団体等】

(学校団体)

- ・県外：岩手県立水沢高等学校(18名)  
真岡市立真岡東中学校(108名) 等
- ・県内：県立福島高等学校 (44名)  
県立福島工業高等学校 (262名)  
県立会津高等学校 (213名) 等

(一般団体)

- ・県外：関西大学(19名)  
千葉県消防学校(137名) 等
- ・県内：相双遊学ツアー(県事業) (13名)  
県小学校長会 (28名)  
双葉郡小中学校長会(17名) 等

#### ○専門研修（モニター研修）の実施

- ・教員向けモニターツアー開催（2020.11.28～29）参加者19名

##### フィールドワーク（大平山霊園）



##### フィールドワーク（請戸小学校跡地）



#### ○県外出張パネル展(2021.4.29～5.26)

##### 県外初の出張パネル展

「東日本大震災・原子力災害パネル展～震災から10年、あの時の記憶を語り継ぐ」をイオン秋田中央店にて開催。約60枚のパネルで震災、原子力災害について語り掛ける。

#### ○若手伝承館職員の語り部デビュー！ (2021.5.8～)

若手伝承館職員3名、横山和佳奈(22)、渡邊舞乃(19)、遠藤美来(19)が、東日本大震災・原子力災害の被災体験を若者目線で熱く口演。



横山和佳奈(浪江町請戸地区出身)  
請戸小6年時に被災、原子力災害に伴う郡山市への避難を経験。  
東北福祉大へ進学。



渡邊舞乃(南相馬市原町区出身)  
原町三小3年時に被災、原子力災害に伴う山形県への避難と転校を経験。  
小高産業技術高へ進学。



遠藤美来(いわき市出身)  
平五小3年時に被災、原子力災害に伴う東京都への避難と転校を経験。  
ふたば未来学園高へ進学。

### 3. 機構の取組 ③教育・人材育成 ～教育研究活動への支援～

- 復興に資する知を浜通り地域等に誘導・集積するため、浜通り地域等で**市町村と協定を締結し、拠点を置きつつ**教育研究活動を行う大学等を支援する取組（補助事業）を2018年度～2020年度に実施。
- **2021年度からは**、福島復興に資する「知」（復興知）を集積・活用し、人材育成基盤を構築するため大学等による浜通り地域等における恒常的な連携体制の形成と特色ある教育研究プログラムの開発・実施を支援するとともに、大学・研究者や市町村長との相互交流やネットワーク作りを実施。

#### <2021年度採択大学の活動計画> 21テーマ：20大学が参加

##### 東京大学（楡葉町ほか）

復興知とイノベーション・コースト構想の推進に必要な多層的な知識・技能を身につけた人材を「ミルフィーユ型人材」と定義し、自治体・大学等・企業などの多様な組織と連携してミルフィーユ型人材を育成する。さらに、ミルフィーユ型人材育成を通じて、産業創出や国際的情報発信も行う。

##### 会津大学（南相馬市）

浜通り地域等で、研究・教育機関と連携して若手のロボット・ICT人材を育成するとともに、地元企業等のロボット産業に関する取組の促進・支援を行い、技術力の向上と連携体制を強化する。また、地元企業のほか、浜通り地域等への進出企業とも連携し、福島ロボットテストフィールドを活用したロボット産業振興に貢献する。

##### 東京農業大学（浪江町）

浪江町において就農拡大・スマート農業・6次産業化に向けた現地活動の実績から、昨年度地域企業への就職者2名を輩出。更なる移住・定住などの人材定着が課題であり、インターンシップ型の教育研究プログラムを実施し、地域企業等との連携による各種の戦略的プロジェクトを展開し、農村地域全体の活性化に取り組む。



### 3. 機構の取組 ③教育・人材育成 ～教育研究活動への支援～

2020年度実績

#### <横断的取組事例>

#### ○福島復興学ワークショップ in 浪江 (2020.9.4) 会場：浪江町地域スポーツセンター

「復興知」事業で「リスクコミュニケーション・放射線」をテーマに取り組む4大学（大阪大学、弘前大学、長崎大学、東京大学）の教育研究活動発表とパネルディスカッション ※参加者104名（オンライン含む）



パネルディスカッションの様子



活動発表：東京大学



活動発表：弘前大学

#### ○「復興知」成果報告会 (2020.12.5)

会場：東日本大震災・原子力災害伝承館  
参加者：約160名（オンライン含む）

- ・ 第1部：東京農業大学、郡山女子大学、福島大学による成果報告
- ・ 第2部：東京大学、慶應義塾大学、東北大学による成果報告
- ・ 各部の報告後にトークセッションを実施
- ・ 2020年度採択大学の取組をまとめた「資料集」を作成

(機構ホームページに掲載 <https://www.fipo.or.jp/news/12747>)

**「復興知」成果報告会**  
 令和2年12月5日(土)  
 13:30～16:00 (開場 13:00)

**プログラム** (単位を省略)

13:30～14:00 開会挨拶  
 14:00～14:15 報告：東京農業大学  
 14:15～14:30 報告：郡山女子大学  
 14:30～14:45 報告：福島大学  
 14:45～15:00 トークセッション：復興知事業の今後の取組について  
 15:00～15:15 報告：東京大学  
 15:15～15:30 報告：慶應義塾大学  
 15:30～15:45 報告：東北大学  
 15:45～16:00 閉会挨拶

**主催**：(公財)復興イノベーション・コースト構築推進機構  
**共催**：復興知事業推進委員会  
**協力**：関係機関等



成果報告：東京農業大学



トークセッション (第2部)

### 3. 機構の取組 ③教育・人材育成 ～高校・高等教育機関でのイノベ教育～

#### 高校：先進校（2校）

※スーパーグローバルハイスクール（2015～2019年度）、  
スーパープロフェッショナルハイスクール（2017～2019年度）に指定

- ふたば未来学園高校（SGH※）はアクティブ・ラーニングによるグローバルリーダーの育成、小高産業技術高校（SPH※）は先端技術学習と地域探究により復興人材の育成に向けた教育プログラムを展開。

#### 高校：浜通り地域等支援校（11校）

- 地域の企業や研究機関・大学と連携した実践的な教育プログラムを開発し、2018年度から8校で実施。構想を牽引するトップリーダーと構想の即戦力となる専門人材を育成。2019年度は水産高校、2021年度は商業高校にも拡大。

（例）イノベ構想・企業に関する講演会・出前授業、企業・拠点の見学・実習、発表会、就職説明会

#### 高校：広域連携校（18校（実数））

- 浜通り地域等で培った“イノベ人材育成”に関する教育プログラムのノウハウ等を会津、中通り地域への展開。2020年度講演・地元企業等の見学等の実施実績 <93回/中通り13校、27回/会津5校>

#### 高等教育機関

- 2019年度より、県内の大学、高専、テクノアカデミー等へプログラムの一部を水平展開。

- 新型コロナ禍で企業と高校生を対面でつなぐ事が困難な状況のため、新たな試みとして、工業高校生向け企業紹介動画を作成し、YouTubeで公開！（高校OB/OGが自分の会社を後輩へ紹介！）

#### ・平工業高校 企業紹介チャンネル

([https://www.youtube.com/channel/UCmuypScYTsfJUI\\_G93JcLWA](https://www.youtube.com/channel/UCmuypScYTsfJUI_G93JcLWA))

※2020.6動画投稿開始 チャンネル累計再生数 8,105回(4/7時点)

#### ・小高産業技術高校 企業紹介チャンネル

([https://www.youtube.com/channel/UChadmmyo\\_rZ1myFIBjiCsgQ](https://www.youtube.com/channel/UChadmmyo_rZ1myFIBjiCsgQ))

※2021.1 動画投稿開始 チャンネル累計再生数 1,799回(4/7時点)

The image shows two YouTube channel pages. The top one is for 'Heiwa Industry High School' (平工業高校) with a banner for 'Enterprise Messages from Local Companies and Alumni 2020'. The bottom one is for 'Shiogai Industry Technical High School' (小高産業技術高校). Both channels feature videos of students and alumni introducing local companies. QR codes are provided for each channel.

### 3. 機構の取組 ③教育・人材育成 ～高校・高等教育機関でのイノベ教育～

#### ○トップリーダーの人材育成

2020年度 29回

- 磐城高校: 廃炉・イノベーション現場ツアー
- 相馬高校: 地域理解学習(地域企業、研究機関視察)
- 原町高校: 福島ロボットテストフィールド研修



磐城高校  
ICT機器を活用した  
『地域探求学習』発表



磐城高校  
現場ツアーとして  
福島エコクリート(株)を見学

#### ○農業・水産分野の人材育成

2020年度 91回

- 磐城農業高校: 循環型農業の研究とバイオマス発電  
磐城農業高校オリジナル堆肥販売
- 相馬農業高校: 先進農家見学
- いわき海星高校: 水中ドローン操作訓練



相馬農業高校  
ICT技術を活用した  
水田管理実習

#### ○広域連携校への展開

2020年度 120回



本宮高校  
ドローン操作体験を実施

#### ○工業分野の人材育成

(平工業高校、勿来工業高校、小高産業技術高校、川俣高校、テクノアカデミー、会津大学)

2020年度 77回



勿来工業高校  
古河電池(株)から講師を  
招き、業務内容や鉛蓄  
電池の製造工程につい  
て講義を実施



小高産業技術高校  
(株)東日本計算センターか  
ら講師を招き、ドローン制  
御プログラミングやドロー  
ン操縦体験を実施

### 3. 機構の取組 ③教育・人材育成 ～小中学校での教育～

- 構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、小中学校段階からロボットや再エネ等の新産業を含めた地域理解を深める学習を展開。
- **双葉郡8町村**では、地域への思いや自分や地域の未来を切り拓く力を育てるよう、地域の「ひと」、「もの」、「こと」を題材に、8町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援。
- 各校の「ふるさと創造学」の取組をポスターセッション形式で共有する、子どもが主体の学びあいの場「**ふるさと創造学サミット**」等を開催。
- **避難地域12市町村**の教育委員会が行う“ふるさとに根ざした魅力ある学校づくり”や教職員研修会の実施を支援。

#### ○第7回双葉郡ふるさと創造学サミット (2020.12.5)

※オンライン開催 **711名**参加 (児童生徒350名、教職員・関係者等285名、オンライン参加者14名、配信視聴者62名)



時間	内容	会場	主催	協賛	協賛	協賛	協賛	協賛
9:00~9:30	オープニング	双葉郡庁	双葉郡					
9:30~9:40	セッション①	双葉郡庁	双葉郡					
9:40~9:50	セッション②	双葉郡庁	双葉郡					
9:50~10:10	セッション③	双葉郡庁	双葉郡					
10:10~10:30	セッション④	双葉郡庁	双葉郡					
10:30~10:50	セッション⑤	双葉郡庁	双葉郡					
10:50~11:10	セッション⑥	双葉郡庁	双葉郡					
11:10~11:30	セッション⑦	双葉郡庁	双葉郡					
11:30~11:50	セッション⑧	双葉郡庁	双葉郡					
11:50~12:10	セッション⑨	双葉郡庁	双葉郡					
12:10~12:30	セッション⑩	双葉郡庁	双葉郡					
12:30~12:50	セッション⑪	双葉郡庁	双葉郡					
12:50~13:10	セッション⑫	双葉郡庁	双葉郡					
13:10~13:30	セッション⑬	双葉郡庁	双葉郡					
13:30~13:50	セッション⑭	双葉郡庁	双葉郡					
13:50~14:00	閉会式	双葉郡庁	双葉郡					



大野小学校の発表の様子

#### ○ふたば生徒会連合ビデオ会議・交流会



会議・交流会ともそれぞれ年9回実施予定 (各8回実施済)  
写真は第2回ビデオ会議の様子

#### ○避難地域12市町村小中学校教育等推進事業



いいたて希望の里学園  
×夢デザイン総合研究所  
(プログラミング教育)



川俣町・山木屋中学校  
×福島大学(復興知)  
(里山体験(自然観察))



少人数教育教員研修会  
(2020.9.29)  
※オンライン開催  
参加者約100名

- 来訪者のニーズにあわせたオーダーメイド視察対応、構想に関連するテーマ設定のモデルツアーを実施。

#### <モデルツアー(イノベ構想の拠点施設と地域の視察ツアー)>

第1回：先端農業と6次化産業（11.26～27）※8名参加（旅行代理店など）

第2回：ロボットや新エネルギーの先端技術（12.9～10）※13名参加（旅行代理店など）

第3回：震災と復興から学ぶ企業研修（2.17）※37名参加（旅行代理店など）

#### 【オンラインツアー】



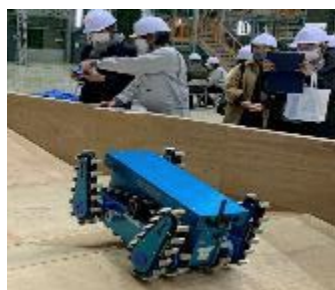
第1回視察コース



第2回視察コース



川俣ポリエステル媒地活用推進組合（アンスリウム栽培）



檜葉遠隔技術開発センター（ロボット操作体験）

#### 第3回オンラインツアー 次第

##### ・基調講演

前飯舘村長 菅野典雄氏

##### ・研修プログラム紹介&体験

A：[未来の災害対応訓練]

ふくしま総合防災対応訓練機構

B：[避難所運営WS] とみおかプラス

C：[チームビルディング] Jヴィレッジ

D：[リーダーシップ] あすびと福島

#### オンラインツアー



#### <オーダーメイド視察対応>

取扱件数

57件  
(17件延期・8件中止)

実施件数

32件  
(914名)

企業26件

商工団体・金融機関9件

教育・研究機関9件

行政機関8件

その他5件

#### <ガイド養成>

- 通訳案内士、バスガイドを対象とした、研修会を実施  
(通訳案内士 参加30名)  
(バスガイド 参加20名)

### 3. 機構の取組 ④交流人口の拡大 ～見える化～

- 地域の方々に構想を身近に感じていただくため、浜通り地域等のイベントへのブース出展や機構主催のセミナーを開催。
- 2021年度は、**中通り、会津各地域**でも「見える化セミナー」を計画。スタンプラリーは、2回実施を計画。

#### <見える化セミナー>

2回で参加者87名  
動画視聴323回

- 見える化セミナー in かわうち (2020/11/13)  
※会場参加35名  
動画視聴回数 127回
- 見える化セミナー in ひろの (2020/12/3)  
※会場参加52名  
動画視聴回数 196回




基調講演:東京農業大学 黒瀧教授 (かわうち)



基調講演:ふたば未来学園 柳沼校長 (ひろの)

#### <福島イノベ構想クイズ & スタンプラリー> (2020/12/25~2021/1/31)

イノベ構想に関する情報発信を目的としたモニュメントを活用し、**浜通り地域等15市町村の24施設**を対象としたスタンプラリーを開催。

・スタンプ数：4,655個  
(モニュメント訪問総回数)



#### <見える化キャラバン>

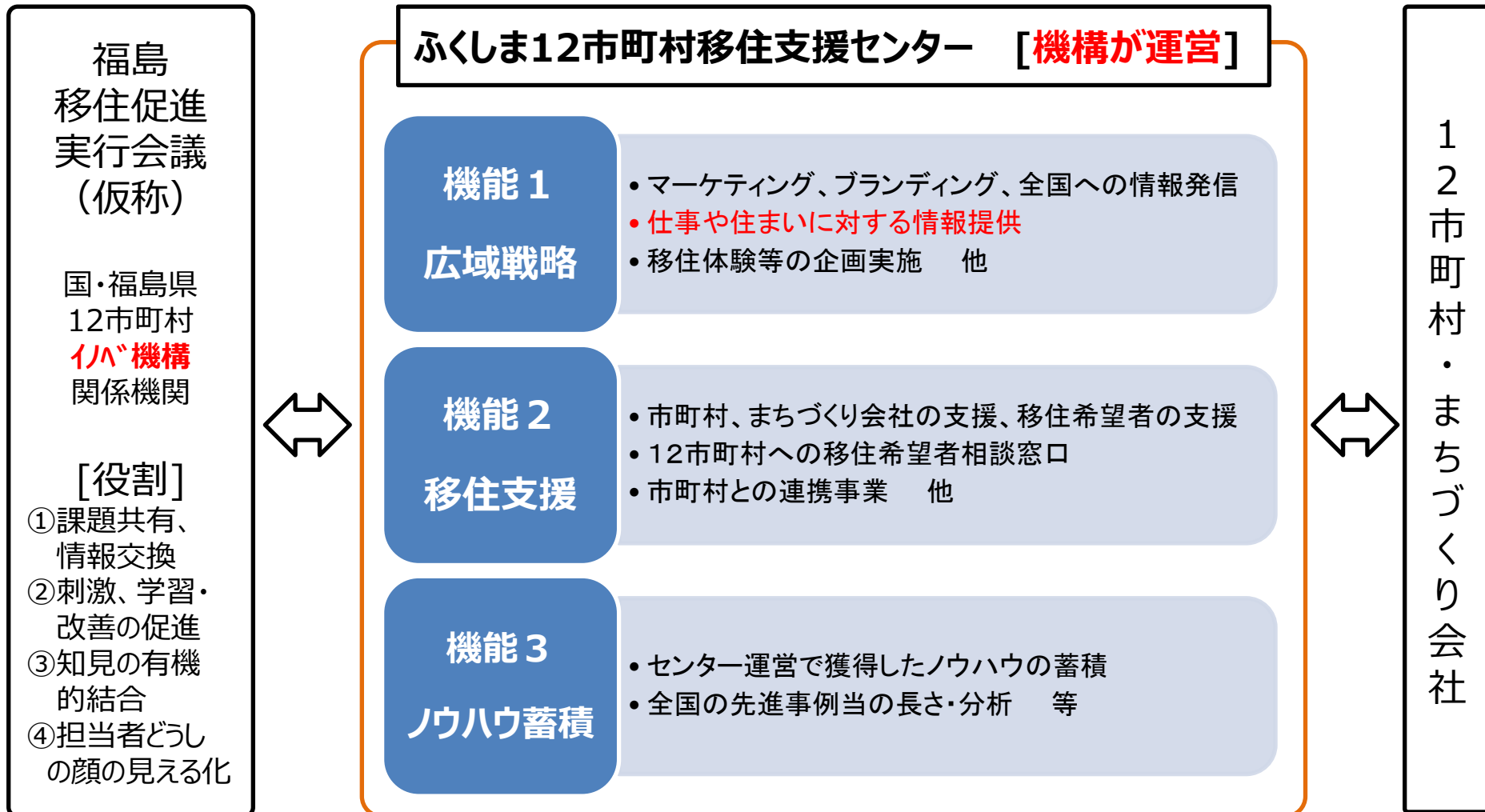


- ◆ 5 イベントへ出展
  - ① 飯舘村文化祭
  - ② ロボテス縁日
  - ③ ひろの秋祭り
  - ④ ならSUNフェス
  - ⑤ いわきドリームチャレンジ

ブース出展の様子  
いわきドリームチャレンジ  
@いわきグリーンフィールド

### 3. 機構の取組 ④交流人口の拡大 ～移住・定住の促進～

- イノベ構想を総合的に進めるため、移住・定住促進に取り組む。  
具体的には、福島県が設置する「**ふくしま12市町村移住支援センター**」の運営を受託。  
**2021年7月センター開所。**



### 3. 機構の取組 ⑤情報発信 ～シンポジウム～

- さらに県内外で広く構想の取組を知っていただくため、**シンポジウム**の開催等を行い、構想の浸透と参画を図る。

#### <福島イノベーション・コースト構想シンポジウム>

約400名参加（オンライン含む）

（2020/12/19）メイン会場：双葉町産業交流センター  
（サテライト会場：東日本大震災・原子力災害伝承館）

##### ○基調講演

- ・JR東日本 常務執行役員 阪本未来子氏

##### ○成果発表

- ・(株)人機一体  
(株)ネクサスファームおおくま  
東京大学アイソトープ総合センター  
福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会  
(双葉中学校)

##### ○学校からの取組発表

- ・相馬高校、原町高校、  
相馬農業高校、平工業高校、  
磐城農業高校

##### ○トークセッション

#### ※イノベ機構YouTube

チャンネルで動画アーカイブ配信中



加藤官房長官挨拶



基調講演：阪本氏 [イノベ機構 理事]



学校からの取組発表：相馬農業高校



トークセッション

#### <情報発信>

##### 【国内向け】

- ・土木学会シンポジウム（斎藤理事長・小沢理事）
- ・経団連主催セミナー（伊藤専務理事）
- ・ICRP(国際放射線防護委員会)国際会議  
(紺野事務局長、高村館長)
- ・深層ニュース[BS日テレ]（小沢理事）

##### 【国外向け（国内含む）】

- ・Discoveryチャンネル[web]での発信（伊藤専務理事）
- ・復興庁作成動画での発信（FTC、伝承館、RTF）



経団連主催セミナー  
[オンライン開催]



2021.3.4深層NEWS[BS日テレ]



### 3. 機構の取組 ⑤情報発信 ～YouTube～

- 福島イノベーション・コースト構想の認知度・理解度向上、構想への参画の促進に向け、**構想ポータルサイト（Web）**、**SNS（Facebook,Instagram）**、**YouTubeチャンネル等**にて発信。



○産業団地紹介

○企業紹介動画

○福島イノベ構想シンポジウム

○見える化セミナー

○Fukushima Tech Create  
2021 スタートアップピッチ

などの動画を公開中

※動画種別ごとの再生リストも



田田市産業団地紹介



フォーアールエナジー(株)紹介



福島イノベ構想シンポジウム



見える化セミナー in かわうち



Fukushima Tech Create  
スタートアップピッチ

<福島イノベ機構公式SNS>



### 3. 機構の取組 ⑤情報発信 ～外国語対応～

#### ●外国語への対応

- ・英語への対応として、イノベ機構のHP、RTFのHPおよび伝承館のHPの英語版を作成。
- ・イノベ構想説明用簡易パンフレット（英語版）を作成。
- ・RTFと伝承館の英語版パンフレットを作成。（それぞれのHPからダウンロード可能）
- ・復興庁作成の外国人向け動画作成において、RTF、伝承館、FTC事業を紹介



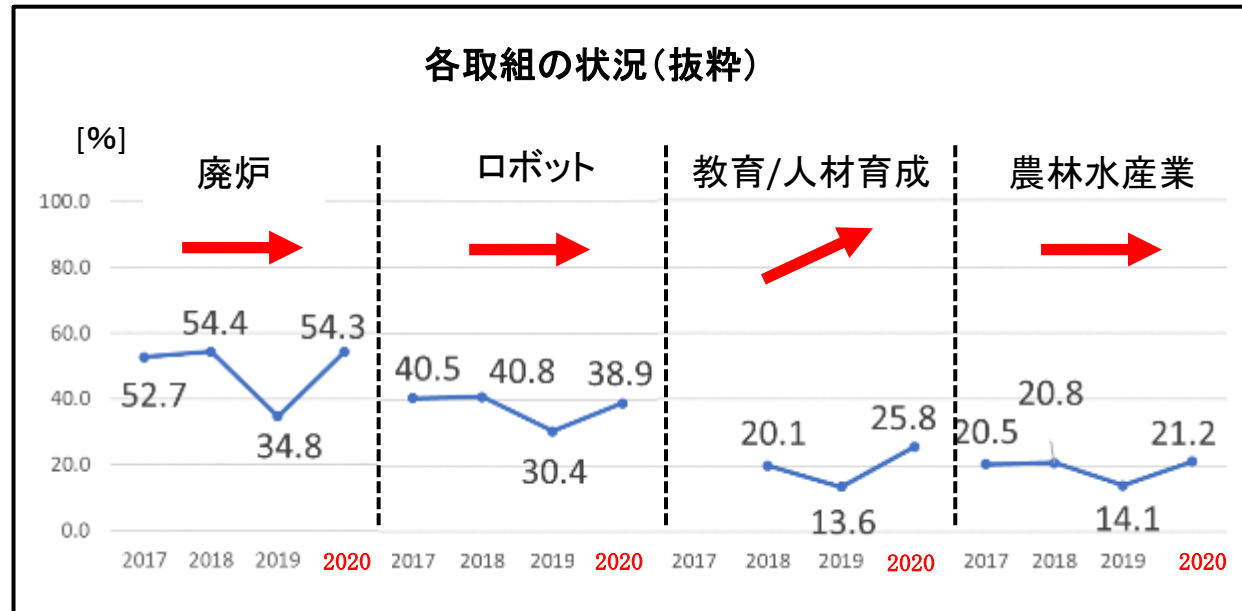
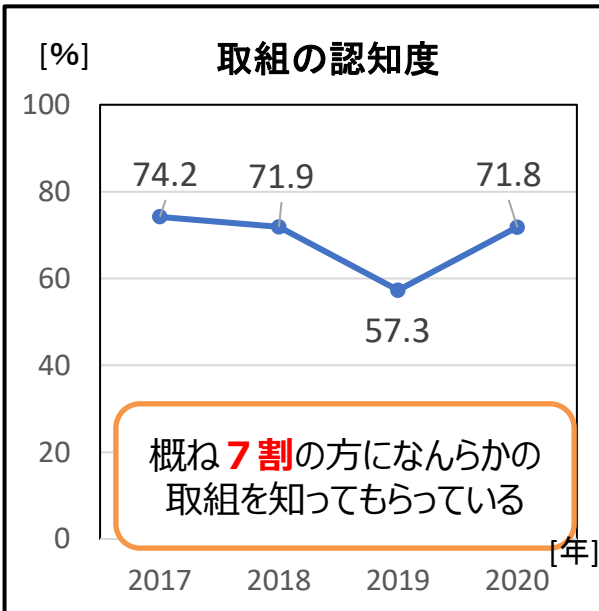
★外国人向け動画。  
YouTube再生回数  
66万回以上！



### 3. 機構の取組 ⑤情報発信 ～認知度～

#### ● イノベ構想の認知度（県政世論調査結果）

- 2019年は全体的に低くでているものの、2020年度の結果から、**概ね7割程度の認知度**にある
- 廃炉・ロボット関連の取組の認知度が高い
- **教育・人材育成の取組についても浸透傾向にある**



#### ● 県政世論調査

人口に応じ、1300人を無作為抽出し、郵送調査により毎年実施。2017年より「福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか」の設問を設定。幾つかの取組を記載し、知っているものを選んでもらう形式。（複数回答可）

※県政世論調査（本設問）の母数  
N=711(2017),638(2018),618(2019),838(2020)  
※取組の認知度  
「特にない」「無回答」を「認知していない」と定義し算出  
※選択肢の表現方法が2020年変更

## 4. その他：寄付金について

イノベ機構では、みなさまからの寄附金を募集しています。

- ✓ 公益法人には、**寄附した法人に対する税制優遇**があります。
- ✓ 法人税について、資本金等の金額や所得金額に応じた一定の限度額まで、寄附金を損金に算入できます（**法人税が減免**）。
- ✓ また、公益法人に対する寄附は、一般寄附金の損金算入額とは別に、損金算入限度額が設けられています。

<損金算入限度額>

公益法人への寄附金額の  
特別損金算入限度額  
A：（所得金額の6.25% + 資本金等の額の0.375%）×1/2



一般寄附金の損金算入限度額※  
B：（所得金額の2.5% +  
資本金等の額の0.25%）×1/4

※Aの限度額を超えた分を含む

（例1）資本金10億円、所得3億円の場合

A：1,125万円、B：250万円、合計1,375万円

（例2）資本金1千万円、所得1.5千万円の場合

A：48.75万円、B：10万円 合計58.75万円

以上



公益財団法人  
福島イノベーション・コースト構想推進機構  
〒960-8043  
福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

<お問合せ先>

Tel：024-581-6894（代表）

受付時間 9:00～17:00（土日祝日・年末年始除く）

「福島イノベーション・コースト構想」のプロジェクトの状況や直近のトピックスを  
ご覧いただけます。

公式Web



Instagram



Facebook



Hama Tech  
Channel



パンフレットは  
こちら



## 参考. 機構の役員体制

- 県内外の大手企業の代表や有識者など、役員・評議員を選任、参与を新設し、2018年10月より役員等の体制も強化。2019年1月より公益財団法人へ移行。

### <理事長>

斎藤 保	(株) I H I 相談役
------	---------------

### <理事>

小沢 喜仁	福島大学共生システム理工学類 特任教授
菅野 孝志	J A 福島五連 会長
楠本 修二郎	(一社) 東の食の会 代表理事
阪本 未来子	東日本旅客鉄道(株) 常務執行役員
鈴木 真二	東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
鈴木 正晃	福島県 副知事
立岡 恒良	(公社) 福島相双復興推進機構 理事
田所 諭	東北大学大学院情報科学研究科 教授
豊増 俊一	日産自動車(株) フェロー
深澤 秀樹	ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事
皆川 芳嗣	(株) 農林中金総合研究所 理事長
横尾 英博	(株) デンソー 経営役員
渡邊 博美	福島県商工会議所連合会 会長

### <専務理事>

伊藤 泰夫	(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構
-------	---------------------------

### <監事>

鈴木 和郎	鈴木公認会計士事務所
古宮 智宏	(株) 東邦銀行 常務取締役営業本部長

### <評議員>

笠原 賢二	福島県経営者協会連合会 会長
轡田 倉治	福島県商工会連合会 会長
鈴木 淳一	福島県教育委員会 教育長
橋本 正典	福島県農業協同組合中央会 常務理事
畠 利行	福島県信用保証協会 会長
松本 順	(株) みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO
宮崎 敏明	会津大学 理事長兼学長
山下 治	福島工業高等専門学校 校長

### <参与>

大山 健太郎	アイリスグループ 会長
清野 智	(独) 国際観光振興機構 理事長
瀬谷 俊雄	(株) 東邦銀行 相談役
蛭田 史郎	旭化成(株) 相談役